

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2070800269		
法人名	有限会社せせらぎ		
事業所名	グループホームせせらぎ		
所在地	長野県小諸市大字加増851-19		
自己評価作成日	平成 23年 11月 27日	評価結果市町村受理日	平成 24年 1月 16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kai.gokouhyou.jp/kai/gosi/p/informationPublic.do?JCD=2070800269&amp;SCD=320&amp;POD=20">http://www.kai.gokouhyou.jp/kai/gosi/p/informationPublic.do?JCD=2070800269&amp;SCD=320&amp;POD=20</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング株式会社
所在地	長野市松岡1丁目35番5号
訪問調査日	平成 23年 12月 6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

可能な限り、自立した生活が送れるようにサポートし、健康管理としてウォーキングなどの運動や衛生管理として足浴などを積極的に取り入れている。また、施設近くにピオトープを造り、自然の中で、四季を感じられるように配慮している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

小諸市で第1号のグループホームとして開所した当ホームは12年目を迎えている。「尊厳を保ちながら最期を終らせてあげたい」という思いを抱き、認知症になった人々や介護者に手を差し伸べている代表者は依頼を受けて近隣市町村の介護相談にのるため出かけている。聖路加看護大学など4大学の修士課程の学生達がホームの宿泊施設に寝泊りしながら代表者の家族である認知症看護研究者の職員のカリキュラムに沿って2週間から半年間の研修を受けている。職員のうちの殆どが看護師である。看取り支援を実践するために制度上の壁に阻まれながらも、今年、協力医との連携の中、亡くなる直前まで食事をし、会話を交わし、何時もと変わらぬ生活をしてきた入居者が静かに88歳の人生に幕を下ろした。入居者の重度化に伴い電動ベッドや介護用品などを新に取り入れられたり、自立を促すズボンを独自に考案し職員の手作りで支援に役立っている。「もし施設入所が必要になったら、此処に入りたいと思っている。楽しく仕事させてもらっている。」と語る職員の顔には誇りと自信が満ちあふれていた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		